

# ブロ長四人と運長ひとり

## 熱き対談——その全文、公開

7月29日、前期全体作業を目前に控えたブロック長4人と運長の対談が実現。5人が大運動会に懸けた“熱い”想いが感じ取れました。

——よろしくお祈いします！

一同 よろしくお祈いします!!

——ではまず初めに。大橋くんの「熱い大運動会を！」という言葉から始まった今年の夏ですが、皆さんは“熱い大運動会”って何だと思ひますか？

**松本春風** 大運動会に対する思ひはみんな違ふと思ひ。大運動会が好きな人も嫌いな人もいるし、走るのが苦手な人得意な人、コロナが怖い人もそんなに気にしてないって人もいる。その中で、自分と違ふ意見を持つてる人を大切に、尊重しながらもちゃんとぶつかり合うことで、相当な熱さが生まれてくると思ひます。

**田中尽** コロナ禍でいろんな制限がある中で、俺たちの代ちょっとツイてないなあって思てた。でもそれを逆にチャンスだと捉えて、追ひ込まれた時に自分たちをどう見せることができるかを一人ひとりが考えれば結構熱いものができるんじゃないかな。

**大場祐依** うちの、頑張るためには何か1つ目標を立てなきゃ意味ないなと思てて。ブロック生に言ったのは、この夏何かに挑戦してほしいということ。ブロック生みんなが小さな1つの目標に向かえば、それがブロック全体の目標に繋がって盛り上がって行く。それぞれが挑戦という目標を持つことで頑張れるし、周りも刺激を受けるし、熱くなれると思ひから、今それをやっています。

**嶋田竹虎** 僕は1年生の時、大運動会で大幹を中心に新しい出会いがあつて、新しい繋がりが生まれて。そのおかげで競技の練習もどんどん楽しくなつて行ってここまで来られた。だから、まずは大幹がブロック生と繋がりを持つて、そこからブロック生同士も繋がりを持つて取り組んだら、みんな熱くなつてくれるんじゃないかなと。

**大橋了士** こうしてみるとほんとに4ブロックそれぞれ。ブロック長のしたいこと、ブロックがこうありたいってのが今いろんな面で自分に伝わつてきてるから、ブロック長に關しては何も言うことがないくらい信用してる。あとはどこまで大幹が付いてこられるか。

そしてもっと大事なのがブロック生をどうやって巻き込むか。「付いてこい」って言うだけじゃダメ。どうやって全体の雰囲気盛り上げて、熱くして、一人ひとりにやりたいって思わせるか。それがそれぞれの個性を発揮させるために必要なことだと思う。だから、全員を巻き込める雰囲気作りが一番大事。

——生徒の様子や大幹のやる気はどうですか。

**大場** YELLOW はね、例年よりブロック生がいっぱい来てくれるなって。大幹よりもブロック生の方が作業してる時もあったりとか、3年生のブロック生も結構来てくれるの。だから、今までできなかった分今年で全部ぶつけようっていう思いは伝わってきてる。

**田中** うちもそんな感じ。多い時とかは20～30人とか来てくれて。そこで、他のブロックもやっとなと思うんやけど、寄せ書き的なのを始めて。そこに「〇連勤してます！」とか「ありがとう」とかブロックに一言とかいろいろ書いてもらう。大幹も寄せ書きを通して大幹ネーム覚えてもらうことを目標にしてたり、モチベーションになってます。

**嶋田** 白は、一部の人は作業に来てくれたり大幹と仲良くなったりするけど、全体を見るとまだまだかなって思ってる。大幹もまだ恥を捨て切れてないやつがいるから、そいつらが殻破ってくれたらもっと良くなるかなと思います。

**松本** ブロック生、どのブロックも例年よりたくさん来てると思うんですけど、その中でやっぱり“光るブロック生”が1人2人いる。俺視点で大幹よりも頑張ってるんじゃないかって思う子とか。大幹にも「大幹よりあのブロック生の方が仕事しとるよ」って声をかけることで俺らも焦るし、そのブロック生の頑張りにも繋がってるんじゃないかな。

**大橋** 今の時点で、少なくとも例年と同じかそれ以上くらいは人が来ると思う。それはやっぱり大幹たちが上手く雰囲気を作ってくれて、作業に行きやすいように工夫してくれてるからだと思う。でもこんなもんじゃない、今年の大幹って。俺らの代はこんなもんじゃない。例年通りで満足するような俺らじゃないけん、もっと頑張ろう。たくさんブロック生が来られるように頑張りましょう。

——他のブロックの良いところや刺激になったところを教えてください。

**松本** 寄せ書きは黄ブロからもらいました！

一同 （笑）

**田中** 俺ももらいました！

**大場** 去年のYELLOW はノートに作ってたんだけど、それだと開かないと見えないから、目に見える形がいいなと思って。今年はホワイトボードを借りてきて、それに紙を貼って書いてもらってる。最初は普通の寄せ書きで「〇〇の話が面白かった」とか「アイスありがとう」みたいな感じのことを書いてたんだけど、今は模造紙も2枚目に入ったから「この夏頑張ること」をテーマにした。やっぱりブロックとして「挑戦してほしい」ってずっと言ってるからね。あと、これが結構外からの見栄えが良いなって。今まで作業で何してるか分からない、みたいな声もあったから。その点、寄せ書きがポスターみたいな役割をしてくれてる。これはいいなと思ったから他ブロにもシェアした。

田中 すごい。その発想はすごい。俺たちはノートに書いてるんだけど、ノートにはノートの良さがあると思ってる。ノートの1ページに日付と俺が何か一言書いて、その下にブロック生に色々書いてもらうんやけど、自分はこの日に作業来たな、とか、前の自分こんなこと書いてたんだ、とか振り返れるようになってるのは良いと思う。

松本 俺は白の姿勢が好き。結構危ないラインを攻めてくれるから、怒られたらこれはアウトか、とか、あ、ここが足りないんだっていうのが分かるから嬉しい。

田中 いい意味でね、めちゃくちゃチャレンジするブロック。

松本 やけん、白が怒られたら、ここまでかっていうのが――

大場 (笑) 分かるよね。

松本 そう。第一に示してくれるから。

一同 (笑)

大場 もうデッドラインすれすれ。

松本 でも、そこが良いところ。制限された中で最大限目指してる。

田中 「俺たち安パイ行きすぎかな?」「もっとチャレンジしていこう」って思わせてくれるよね。

嶋田 そんなこと思われてたんだ。知らなかった(笑)

一同 (笑)

大槇 それぞれ良いところを言っていくと、赤は、ブロック生とかを引き入れる雰囲気が一番上手いと思う。雰囲気がいいよね。今年は4ブロック全部すごい雰囲気良いんやけど、赤は大幹たちがブロック生を迎え入れてくれる。誰に対しても明るくしてくれる感じが、一番あると俺は思う。

田中 嬉しい。

松本 お前(田中)がそうやもんね。

大場 ほんとにそう!

大槇 ブロック長の良さを大幹たちが全員共有しとる。どのブロックもそうやけど。で、白はね。たまに作業がやばいやばいって結構よく言ってる。でも、本気出した時にめちゃくちゃ速い。全員が本気出したとき、マジでどのブロックよりも速い。「白やばいな…」って思いながら帰って、次の日の夕方見たら「やべえここまでできとる!?!」みたいな時があるね。秘めてる力が一番すごい。青は大幹たちの積極性がすごい。大幹たちがみんな明るくて、行くぞ!みたいな感じのやつが多い。だから、青は「みんな頑張れ!頑張ろう!」みたいな雰囲気。ブロック生たちに大幹の明るさ、やる気をどんどん分け与えて。だからこそ“スーパーブロック生”を今年一番輩出するのは青じゃないかなって思っとる。

松本 すごいのがおるんよ。

大槇 そう、すごいのが既にちらほら完成しつつある。

田中 うちにもおるよ。毎日、休日も朝4時からずっとおる人。

嶋田 えっぐ!!

——大橋くんから各ブロックの良いところが出ましたけど、「自分たちのブロック、ここなら絶対負けない！」っていうところは？

**松本** 大橋から言われた通り、明るさとか、発信力みたいな面では、やっぱりその大幹のメンツとして、他ブロに引けを取らない。

**嶋田** 僕のブロックはめちゃくちゃ盛り上げるやつもいれば、僕よりしっかりしてる3年生もおるし、めっちゃ仲良い部署もあるし、いつも話し合ったりしてて、なんかいい。個性がたくさんある感じ。この個性をいい感じにまとめてうちのブロックの強みにしていきたい。

**田中** うちの、さっき大橋も言ってくれたけど、大幹一人ひとりがブロックを楽しませようとしてる感じは、俺が直にめっちゃ感じてて。みんなほとんど1回でブロックの名前か顔を覚えてくれて、次来た時に「来てくれてありがとう！○○くんよね？」みたいな、覚えてるよって感じで楽しませて。応コン大幹とかも忙しいけど、そんな中でもたまに降りてきてくれて、いろんなブロック生と関わってくれたりとか。もちろん、責任感も人一倍強い人たちやけど、その中でも楽しませる気持ちは負けないんじゃないかな。

**大場** うちの指示が上手い人が結構いっぱいいるから、みんなもそれに応えて周りを巻き込む感じがあるというか、誰かが先頭に立ったらどんどん来る感じで。大幹内でお互いに競い合ってるというか、しっかり指示を出す人がいれば、それに全員が全力でついてきてくれるっていうところが、大幹としてはどのブロックにも負けない。だから、これをYELLOW全体に広めて団結していきたい。

——最後に、どんな大運動会にしたいですか？

**大場** 大橋が最初から全力で熱いっていうのをやってるからね。うちはそれに答えて、4つそれぞれの色を出していく。(大橋は)1年の時から言ってるじゃん、「全力」って。だから、うちは色を出すしかないかなと思う。YELLOWがどのブロックよりも一番輝いていきます！

**田中** とりあえず俺自身もそうやけど、楽しみたい。俺たちの代は、運動会はもちろん、研修旅行、創志研修、入学式もできてなくて、この大運動会が最初で最後の全力を出せる行事だと思うし。どれだけつらい思いしてやっても、楽しくなかったら正直意味ないと思うから、俺はこの夏を全力で楽しんでいきたい。それはもちろん俺だけじゃなくて、周り的大幹もブロック生も、他ブロックも運営も楽しませていきたい。全力で楽しめる大運動会にしたい。

**嶋田** 今大幹って、他ブロックの同じ部署と話し合ったりしてて。話し合うことはいいけど、それだとみんな似た感じになっちゃうから、僕は結構差つけてほしくて。全ブロック仲が良いから、今は本番だけ勝負する感じになってるけど、本番前から色んなところで他ブロックと差つけて、白のブロック生は「白で良かった」、他のブロック生も「白が良かったな」って、そんな風に思わせるようなブロックを作って、大運動会を引っ張っていきたい。白が差をつければ他のブロックも追いかけてくるだろうし、色々競い合って良い大運動会になるんじゃないかなって思うから、僕は他と差をつける大運動会をやっていきたい。

**松本** 大橋が言うように全力でやる中で、自分はブロック生と大幹との壁をなくしたくて。いつまでも大幹が“憧れ”とか“先に行く存在”だったら、青ブロック全員が全力を出すっていうのは叶わないと思うし、限界が見えてくると思うので。だから、大幹を憧れの存在じゃなくて、超えるべき存在とか、ライバルとか、友達とか戦友とかでもいいけど、大幹を憧れの存在という枠から外したい。もちろん俺らは憧れられるような大幹になるべきなんだけど、そこを超えてくるブロック生が欲しいし、全員がそういう思いで臨んでほしいから。大幹じゃないから頑張らない、とか頑張りにくいな、とかいうのをなくしたい。

**大橋** 今年の大運動会は“熱い”大運動会、つまり修猷生全員がそれぞれの個性を惜しみなく発揮して、お互いに影響しあって、さらに素晴らしい個性を輝かせることができるような大運動会にしていきたい。さらに、今までにない考え方、前例にとらわれないやり方を追求して、全く新しく、かつこれまで受け継がれてきた伝統を失わない強い意志をもって成功させたい。

——ありがとうございました。

一同 ありがとうございました！